付録

付録

付録 A

一般情報

プリント サーバーの設定を変更するには、次のいずれかの方法を使用します。

- ブラザーユーティリティ（Windows 95 以降）
- HTTP（ウェブ ブラウザを使用）
- TELNET（コマンド ユーティリティ）
- ブラザーBRCONFIG NetWare ユーティリティ（コマンド ユーティリティ）
- DEC NCP または NCL ユーティリティ

BRAdmin Professional（推奨）
ブラザーBRAdmin Professional では、TCP/IP または IPX/SPX プロトコルを使用することができます。 このユーティリティを使用すると、ネットワークとプリンタの設定をグラフィカルに管理できます。 また、プリント サーバーのファームウェアのアップグレードにも使用できます。

HTTP（推奨）
使い慣れたウェブ ブラウザを使用して、ブラザー プリント サーバーに接続し、プリント サーバーのパラメータの設定を行うことができます。
JetAdmin または WebJetAdmin
ブラザー プリント サーバーは HP の JetAdmin および WebJetAdmin と互換性があります。

TELNET

TELNET を使用して、UNIX、Windows NT、およびほとんどの TCP/IP システムからプリント サーバーに接続できます。 システムのコマンド プロンプトで、TELNET ipaddress と入力します。 この ipaddress はプリント サーバーの IP アドレスです。 プリント サーバーに接続したら、<RETURN>または<ENTER>キーを押します。 # プロンプトでパスワード を入力し（デフォルトのパスワードは access です）、Enter Username> プロンプトで任意の名前を入力します。 Local> プロンプトが表示されたら、コマンドを入力することができます。

コマンド プロンプトで HELP を入力すると、サポートされているコマンドのリストが表示されます。 サポートされているコマンドの完全なリストと各コマンドの説明が、commands.pdf ファイルに用意されています。

BRCONFIG

ブラザーBRCONFIG ユーティリティは、BRAdmin Professional と共にインストールされる、DOS 用ユーティリティです。 ブラザーBRCONFIG NetWare ユーティリティを使用してプリント サーバーに接続するには、ブラザーBRAdmin Professional から BRCONFIG ユーティリティを選択するか、ブラザーBRAdmin Professional ユーティリティ ディスケットをドライブ A に挿入し、DOS のシステム プロンプトで A:BRCONFIG と入力します。 プリント サーバーが 1 つしかない場合は、直ちにそのサーバーに接続します。 複数のプリント サーバーが存在する場合は、使用可能なプリント サーバーのリストが表示されます。 接続するプリント サーバーの番号を入力します。 プリント サーバーに接続したら、# プロンプトでパスワード を入力し（デフォルトのパスワードは access です）、Enter Username> プロンプトで任意の名前を入力します。 Local> プロンプトが表示されたら、コマンドを入力することができます。 BRCONFIG を使用するには、IPX プロトコルを実行している Novell Server と、そのサーバーへのアクティブな接続が必要です。

コマンド プロンプトで HELP コマンドを入力すると、サポートされているコマンドのリストが表示されます。 サポートされているコマンドの完全なリストと各コマンドの説明が、commands.pdf ファイルに用意されています。

コマンド リストおよびファームウェアのアップグレードは、製品 CD に付属の CD-ROM に格納されている commands.pdf をご参照ください。

付録 B
サービスの使用

概要

ブラザー プリント サーバーへの印刷を行うコンピュータからアクセスすることのできるリソースをサービスと呼びます。 ブラザー プリント サーバーには、次の定義済みサービスが用意されています。 ブラザー プリント サーバーのリモート コンソールで SHOW SERVICE コマンドを実行すると、使用可能なサービスのリストが表示されます。

サービス	説明
BINARY_P1	TCP/IP バイナリおよび LAT サービス
TEXT_P1	TCP/IP テキスト サービス （LF の後に CR を追加）
POSTSCRIPT_P1	PostScript サービス （PJL 互換プリンタなら PostScript モードへ切り換えて印刷する）
PCL_P1	PCL サービス （PJL 互換プリンタなら PCL モードへ切り換えて印刷する）
BRN_xxxxxx_P1_AT	Mac OS 8.6 以降の AppleTalk および LPD サービス
BRN_xxxxxx_P1	NetWare サービスと NetBIOS サービス （下位互換のため TCP/IP と LAT が使用可能）

xxxxxx は Ethernet アドレスの最後の 6 桁です（BRN_310107_P1 など）。
サービスとその定義方法の詳細は、製品 CD に付属の CD-ROM に格納されている commands.pdf をご参照ください。

付録 C

プリント サーバーのファームウェアのアップグレード

概要

プリント サーバーのファームウェアは、フラッシュ メモリに格納されています。 そのため、適合するアップデート ファイルをダウンロードして、ファームウェアのアップグレードを行うことができます。 最新のファームウェア アップデートを入手するには、ブラザーの WWW サーバー www.brother.com をご利用ください。

用意されているソフトウェア バージョンによっては、プリント サーバーの設定が自動的に工場設定にリセットされることがあります。 そのため、ファームウェアのアップグレードを実行する前に設定ページを印刷し、プリント サーバーの現在の設定を必ず記録に残しておいてください。 設定ページを印刷する方法は、『クイックネットワークセットアップガイド』 をご参照ください。

ブラザー プリント サーバーのファームウェアをアップグレードする方法は、次の 3 種類があります。

BRAdmin Professional を使用する（推奨）。

1. FTP プロトコルを使用する（Macintosh または Unix ネットワークの場合に推奨）。
2. 他のシステムを使用する（Novell または Unix システムで、新しいファームウェア ファイルをプリント サーバーに送るなど）。

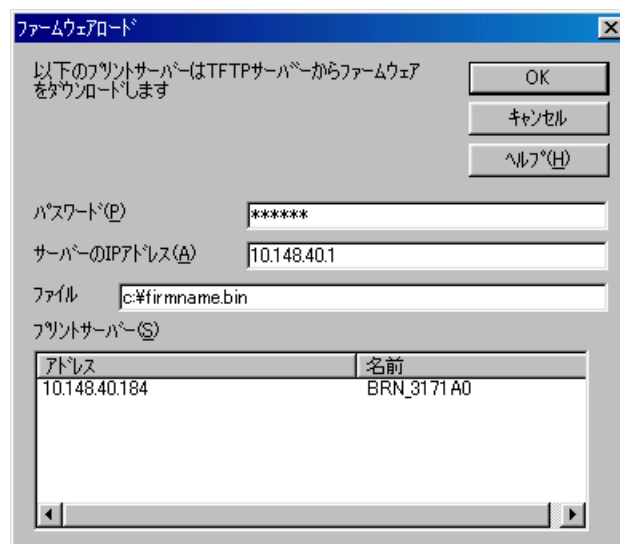
ファームウェアの再ロードにBRAdmin Professionalを使用する

BRAdmin Professional を使用すると、ブラザー プリント サーバーの再プログラムを簡単に実行できます。

1. BRAdmin Professional を起動します。
2. 目的のプリント サーバーを反転表示にします。 [コントロール] メニューの [ファームウェアのロード] を選択します。 複数のプリント サーバーを選択するには、<CTRL>キーまたは<SHIFT>キーを押したまま、必要なプリント サーバーを選択します。

新しいソフトウェア バージョンをプリント サーバーに送る方法は 3 種類あります。 どの方法を選択した場合でも、プリント サーバーのパスワードを入力する必要があります。 プリント サーバーのデフォルト パスワードは access です。

3. TFTP PUT（ホストから）
   コンピュータに TCP/IP がすでにインストールされている場合は、この方法を使用してください。
   BRAdmin Professional は TFTP プロトコルで新しいファームウェアデータをプリントサーバーに送ります。

4. TFTP GET（サーバーから）
ネットワークにTFTPサーバーがインストールされている場合は（Unixシステムの多くはTFTPをサポートしています）、この方法を使用することができます。 新しいファームウェア ファイルは、TFTPサーバーのTFTP BOOTディレクトリに格納されている必要があります。 プリント サーバーは、コンピュータからの指示により指定されたTFTPサーバーからファームウェア データを読み出します。 ファイル名を正しく指定しないとアップグレードは失敗します。 また、ファームウェア ファイルが、プリント サーバーで読めるように設定されている必要があります。 Unixシステムでは、chmodコマンドを使用して、ファイルの属性を指定できます。 たとえば、コマンド chmod 666 filename を使用すると、だれでもこのfilenameファイルにアクセスできます。 また、UnixサーバーでTFTPサービスが実行されている必要があります。

5. Netware GET（サーバーから）
ネットワークにIPX/SPXを実行するNetwareサーバーが存在し、新しいファームウェア ファイルがサーバーのSYS/Loginディレクトリに格納されている必要があります。 この方法では、コンピュータの指示により、プリント サーバーが指定されたNetwareサーバーからファームウェア データを読み出します。 プリント サーバーはNetwareサーバーに接続して、ファームウェアを直接読み取ります。

再ロードの手順

ファームウェア ファイルのロード中は、プリンタ フロント パネルの Data（データ）LED が点滅します。 プログラム中は、Alarm（アラーム）LED が点灯、Ready（使用可能）LED が点滅します。 プログラムが終了すると自動的にプリンタが再起動します。 プリンタの再起動が完了するまで、絶対にプリンタの電源を切らないでください。

約 2 分経過しても Data（データ）LED の点滅が止まらない場合、または Alarm（アラーム）および他の LED が周期的に点灯する場合は、入力したパラメータが正しいかどうか、およびネットワーク接続が良好かどうかを確認してください。 もう一度プリント サーバー/プリンタの電源を入れ直し、ダウンロードを実行します。

ファームウェアのアップグレードで問題が発生し、プリンタのネットワーク関連機能が動作していない場合は、コンピュータの DOS プロンプトで COPY コマンドを使用し、プリント サーバーの再プログラムを実行する必要があります。 コンピュータとプリンタをパラレル ケーブルで接続し、コマンド COPY filename LPT1:/B を実行します。 filename は新しいファームウェアのファイル名です。

FTPプロトコルを使用してコマンド プロンプトから再ロードを実行する

ログオン時にプリント サーバー パスワードをユーザー名として指定すると、プリント サーバーまたはプリンタ（この機能がサポートされている場合）のファームウェアをアップグレードできるようになります。 次の例では、cambridge がプリント サーバーのパスワードです。
メッセージ「226 Data Transfer OK/Entering FirmWareUpdate mode.」が表示されたら、間違いなくファームウェア ファイルがプリント サーバーに転送されています。 このメッセージが表示されない場合は、プリンタに送られているファイルは無視されるか、プリンタから無意味な印刷出力が行われます。

FTP クライアントをバイナリ通信モードに切り換えるには、bin コマンドを使用しなければなりません。 bin コマンドを指定しないと、アップグレードが正しく行われません。

FTPプロトコルを使用してウェブ ブラウザから再ロードを実行する

ウェブ ブラウザを使用してプリント サーバーのアップグレードを行う方法は、ブラザーのサーバーをご参照ください。